

令和4年 11月 20日

瀬戸内市議会議長

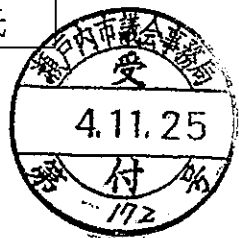
廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 川勝 浩子

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

| | |
|-------------|---|
| 期 間 | 令和4年 11月 1日 ~ 令和4年 11月 2日 |
| 研修会名 | 公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 令和4年度 市町村議会議員研修 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」 |
| 開催場所 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 研修目的・ 内容 | 目的①；議会改革を進めるにあたっての基本的な事項(地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など)について学ぶ。 目的②；議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。 目的③；ダイアログ(自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法)を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。 講義 「議会改革度調査」から見る地方議会、講師 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」から見る先進議会の議会改革事例について、議会基本条例のあり方、作り方、改正や検証方法等も含めて、解説があった。 事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 1、演者 徳島県那賀町議会議員・議会改革特別委員会 委員長 柏木 岳 氏、コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 |



| | |
|------------|--|
| | <p>「車座会議」と銘打つりピーターが増える議会意見交換会や、若者の生の声を拾う新成人へのアンケート等住民参加の新たな手法、「情報公開」の発展形である「情報拡散」の考え方とその実例、不信感のレッテルを貼られた政務活動費に代わる、頑張る議員に手当てする手法など、目からうろこの議会改革のナマ情報をお話しいただいた後、質疑応答を通して理解を深めた。</p> <p>事例紹介・演習 住民参加・情報公開を進める取組 2、演者 茨城県取手市議会事務局 次長 岩崎 弘宜 氏、コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 デモテック戦略(デモクラシー×テクノロジー)によるデジタル技術の活用や議事録視覚化システム、市民リライターの試行等、住民参加・情報公開を進める取組について、改革の経緯や現状、取組を始めたことによる効果や今後の展開等についてお話しいただいた後、質疑応答を通して理解を深めた。</p> <p>講義・質疑応答 DX 時代における地方議会の展望、講師 早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏 地方自治を取り巻く現状を解説いただき、そのなかで議会や議員に求められている役割やあり方についてお話しいただいた。また、現在全国で進められている議会改革の動向についてもご紹介いただいた。</p> <p>演習 各議会における今後の議会改革推進の検討、演者 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学んだ。</p> |
| <p>所 感</p> | <p>議会改革に関して、様々な角度から、また先進事例のお話しを聞かせていただき、目から鱗のことがいっぱいありました。</p> <p>徳島県那賀町議会の議員間自由討論では、長提案の議案など様々な課題に対して闊達な議論をし、合意形成に努めている。車座会議(意見交換会)では、聞きっぱなしにせず対応を検討する。議会は、テレビ中継、資料も配信、パワーポイントを使った一般質問でテレビで見るほうが分かり易い議会と言われている。</p> <p>茨城県取手市議会では、事務局と共に市を良くしていこうとの、強い思い。議会の中に住民がいる。住民の中に議会がある。との考えで動いている。やはり、当たり前ですが、全ての事が、一番大</p> |

切な住民のためになっているかという視点を、常に忘れないことだ
と思いました。

演習の時には、議会だよりを持ち寄っての討議でした。他のと比べて、我が市は、字も大きく色合いもきれいで見やすいと思いました。
その上で、市民の生の声があれば、もっと良いかと思いました。